

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年6月1日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年6月1日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	<p>【1～4号機使用済燃料プール用薬液注入装置洗浄配管の損傷について】 1号機使用済燃料プールへの薬液注入操作確認時に、車載式の使用済燃料プール用薬液注入装置の洗浄配管に損傷を確認。 損傷箇所は、洗浄用ろ過水タンクと薬液注入ポンプを接続するフレキシブルホース(以下、フレキとする。)である。 なお、当該フレキは洗浄時にのみ使用するものであり、通常の薬液注入に支障はない。 今後、当該フレキを交換予定。</p>	GⅢ
2	<p>【クレーン付トラック車からの油漏れについて】 資機材運搬準備のためクレーン付トラック車を移動させたところ、移動先でブレーキオイルが漏れていることを確認。 なお、移動前油漏れなしを確認。漏れたオイルのふき取り及び油漏れの停止確認。 今後、漏れ箇所を補修予定。</p>	GⅢ
3	<p>【港湾口海水放射線モニタの紫外線殺菌装置不具合発生について】 海水放射線モニタ監視端末で、紫外線殺菌装置の故障を確認。 現場確認にて、紫外線殺菌装置の紫外線照射ランプ6本の内1本のランプ切れを確認。 なお、紫外線殺菌装置は測定に支障が無い機器であることから、装置を稼働し測定を再開。 今後、原因調査及び当該ランプを交換予定。</p>	GⅢ
4	<p>【1号機滞留水移送装置の空気圧縮機吐出ホース破損について】 免震重要棟集中監視室内のパラメータ監視時に、1号機タービン建屋床 dren サンプ等の水位計に計装用圧縮空気を供給している、空気圧縮機(A)(B)の吐出圧力が低下していることを確認。 現場を確認した結果、空気圧縮機(A)(B)の吐出ホースの一部が破れており、空気漏れを確認。 今後、原因調査及び当該ホースを交換予定。</p>	GⅢ
5	<p>【雑固体廃棄物焼却設備(A)二次燃焼器の目皿部の焼却灰堆積について】 雑固体廃棄物焼却設備(A)において、焼却炉と二次燃焼器の接続部から焼却灰のカケラがはみ出ていることが確認された。本事象は二次燃焼器底部に設置している目皿上部に焼却灰が堆積したことにより発生したものと考えられるため、焼却炉内の灰清掃のため焼却運転を停止。 なお、関連モニタの指示値に有意な変動はないこと、当該箇所及びその近傍の線量測定を行い、検出限界値未満を確認。 今後、原因調査及び焼却炉内の灰清掃を実施予定。</p>	GⅢ
6	<p>【固体廃棄物貯蔵庫第9棟の動力制御盤の送風機出口温度高/低警報発報について】 固体廃棄物貯蔵庫第9棟の動力制御盤にて「送風機出口温度高/低」警報が発報。現場にて送風機出口温度を確認したところ、目標設定値(13.5℃)に対して、警報設定値(16℃)付近であり高側で発報。 空調設備は10台中2台しか稼働していなかったことから、送風機出口温度が上昇したと推定。温度調整ができていない原因について調査中。 なお、空調設備が止まる等の系統喪失に至っていない。</p>	GⅢ